

(活動報告書様式)

団体名	NPO 法人山形県リサイクルポート情報センター		
事業名	『酒田港でのリサイクル物流の活性化』 (酒田港の新たな飛躍に向けたリサイクル物流の取組み)		
助成事業区分	団体支援助成事業		
団体の 所在市町村	酒田市	事業費	1,115,253 円
		うち助成金額	950,000 円



#### (事業目的)

当NPO法人は、設立当初より国土交通省、山形県および酒田市などの行政とともに、酒田港の経済活動活性化とリサイクルポート機能を十二分に発揚する事を目的としてきました。

本事業では、山形県民および多数の企業の皆様方から広く当NPO法人とリサイクルポート酒田港を活用していただくことで、酒田港の利用活性化を生み出し、山形県内全体の経済活性化を目的にしております。

#### (事業内容)

新型コロナについての規制も徐々に緩和され、当法人にもビジネスマッチングの問い合わせ、他港との情報交換・情報収集の機会も戻ってきました。

1. 山形県内外への酒田港利用PR。今年度はやまがた社会貢献基金団体支援助成

事業として「酒田港オンライン・ライブ見学会」を行い、共に酒田港見学ツアーガイドサービス事業を行いました。令和4年度実績は、実施件数 11団体 247名

2. 山形県内における新たな循環資源のリサイクル物流情報の調査、実情把握。

3. 山形県内外におけるリサイクル品の営業支援。

行政および民間の工事全般について、再生砕石および石炭火力発電所からのクリンカ灰の使用に関して営業活動を実施し、リサイクル品の利用拡大を図りました。石炭灰は天然の化石燃料を燃やしたときに生まれるため、自然の土壌や岩石類に近く、環境負荷が少ないです。地元の石炭火力発電所から発生した石炭灰を主原料に作られたリサイクル資材であり、産業廃棄物の「地産地消」を実現し、当法人がこの製品の販売支援を行うことは、社会的有益

性の活動である。安価に使用者にも提供でき、非常に好評を得ています。

4. 酒田北港緑地展望台指定管理入札への参加。

#### (事業効果)

リサイクル品がビジネスとして成立している分野は限クリンカ灰の有効利用は、庄内地区での天然資材（山砂）の不足により今後も需要が伸びることが予想され、廃棄物を再利用することで環境面への有利性が高く、今後も計画的に販売を継続していきます。

#### (今後の展望)

山形県内の経済活性化に酒田港利用PR強化とリサイクル品の営業支援は、企業誘致に伴う雇用の増大および若年層の県内定着化等、今後、必要不可欠であると思います。それには、長期的に継続可能なビジネスマッチングを確実に展開することで、酒田港の活性化につながると考えます。